

不祥事根絶のための行動計画

三原市立北方小学校
作成責任者 校長 小林 敦子

私たちは、子どもの手本となり、信頼される行動をします。
 《使命》 私たちは、子どもたちを守り、育てます。
 《遵法》 私たちは、法令を遵守します。
 《公正》 私たちは、不祥事を許しません。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期	実施状況
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○服務研修内容や資料のパターン化が見られるため、当事者意識の高まりに課題が見られる。 ○机上の整理整頓を意識して行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な服務研修と共に新聞記事等を使ったタイムリーな研修を実施するなど、研修の方法や内容等を見直す。 ○常に整理整頓を心がけるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修資料の準備や研修形態の工夫をしながら改善していく。 ○毎週末には、机上をチェックしてから退校する。また、チェックリストで自分を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期に1回、委員会で服務研修内容についての協議を行う。 ○月1回のチェックリストを実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ○新聞記事や「不祥事根絶資料」の勝代方法について協議している。もう少し内容を深める。 ○学期2回チェックリストを実施している。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○不祥事防止に向け、互いに指摘し合う関係を更に高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、お互い声かけを行い、気付いたことを指摘し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月の不祥事防止委員会の中で、研修についてだけでなく、気になることなどの情報交換を行う。 ○毎日管理職が校内巡回を行う。また、定期的に面談を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○月1回の委員会で情報交換を行い、状況把握をする。 ○管理職による面談を学期1回以上行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○不祥事防止委員会は毎月計画的に実施し、情報交換を行っている。 ○管理職による毎日の校内巡回と計画的な面談を実施している。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口の周知は行っているが、認知度は低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・学級だより等において、相談窓口の案内をする。また懇談会等で、保護者から体罰、セクハラについて聴取する。 ○児童、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施し、実態を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期毎に児童、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童、保護者、職員への「体罰、セクシュアル・ハラスメント」アンケートを計画的に（学期1回ずつ）実施している。